

相模原市里親養育包括支援センター・相模原市共催

相模原市のこどものための

里親制度説明会

相模原に広げよう『里親の根』

- ★里親制度とは児童福祉法に基づいて、里親にこどもの養育をお願いする制度です。
- ★里親とは、様々な事情により保護者と生活が難しくなってしまった子どもを家庭に迎え入れ愛情と理解を持って養育して下さる方のことです。

実施日 2025年1月26日(日)

時間:午後2時~午後4時
(受付時間 午後1時半~)

会場 南保健福祉センター
相模原市南区相模大野6-22-1

相模原市の里親は現在97組。社会的養護のこどもは約200人。里親が足りていません。
<2024年4月現在>

お申し込みはメールでお願いします

申し込み締め切り:2025年1月23日(木)

メール minami-satooya@chusinkai.jp

①~③を記載の上お申し込み下さい。

- ①住所 例:相模原市中央区相模原
- ②参加者全員の氏名(ふりがな)
- ③電話・携帯の番号

申込みQRコード



<内容>

- ・里親制度DVD
- ・相模原市の里親制度について
- ・質疑応答
- ・個別相談

<問い合わせ先>
相模原市里親養育包括支援センター
「ふうせんかすら」
〒252-0231相模原市中央区相模原
5-1-20 南栄ビル402
電話 042-704-8433
(平日 土日祝日 午前9時~午後6時)



ふうせんかすらの活動報告

①フォスタリングチェンジプログラム

昨年2023年から実施し、今年度2回目の実施です。
基本的に最新のペアレントトレーニング・プログラムに立脚しています。それは社会的学習理論の方法を用いて親が、子どもに肯定的行動を促進し限界を設定することによって、子どもとの肯定的な結びつきを構築するスキルを身につけてもらうプログラムです。(マニュアルより抜粋)プログラムの理論を大切に、この研修に取り組んでいます。
毎週決まった曜日に全12回行いますが、回を追うごとに参加の里親さんたちが、熱心に学習に取り組む様子が伺え、私たちも手ごたえを感じながら、里親さんと一緒にこの研修に取り組んでいます。

②子どものための里親制度を知るプチ相談会(ZOOM開催)

6月より偶数月に実施しています。6月は0名8月は1名10月は2組4名の参加があり、少しずつではありますが、このような説明会がある事が市民の皆様にも認識されているように感じます。この相談会から、里親登録者に繋がるのもそれ程遠い未来ではないと思っています。
(ふうせんかすら 里親リクレーター内山)

ご寄付お礼 [2024年7月~9月]

いつも熱いご支援、ありがとうございます。

株式会社セクメット 瀬戸 誠 様/豊浦 正道 様/油座 由美子 様/花田 香代子 様/株式会社スマイル 代表取締役 井上 廣一 様/
株式会社WORLD G8 代表取締役 川越 美奈 様/中野 浩平 様/株式会社ノジマステラスポーツクラブ 様/株式会社ザ・シティ相模大野店 様/
株式会社 三景 代表取締役 角谷 豊人 様/高橋 宏康 様/ニラク海老名本郷店 様/小下 健彦 様/佐々木 亜紀子 様/芳賀建設工業
株式会社 代表取締役 芳賀 錠 様/一般社団法人 神奈川県養豚協会 様/四ツ谷上・下 こどもみこし 様

相模原南児童ホーム通信

高校生と選挙

「今回の衆議院選挙は政治とお金の選挙だったね」、「〇〇党は・・・」、「あの政治家はね・・・」等、高校3年生の児童から選挙の話題を振られました。私が思った以上に、政治に対して興味・関心を持っているのに驚きました。そして、彼なりに、有権者として、「投票場に行かなくては」と人生で初めて自ら投票場へ行き、一票を投じました。

今回の18歳の投票率は49.23%。しかし、18歳、19歳の合計で見ると43.06%に落ちるそうです。18歳は学校で教育を受け、投票を促されるためとされていますが、19歳になると残念なことに投票率が下がってしまいます。若い世代の投票率の低さ、政治への無関心さが社会では問題になって

相模原南児童ホーム 所長 曾我 幸央

いますが、児童養護施設で生活する18歳の子どもたちも決して、例外ではありません。

児童の自立支援で重要なところは社会的自立になりますが、社会的自立の中でも有権者としての心構え等も日常生活の中で教えていく大切さを感じました。



みなみっこまつりを開催!

乳児課は、ステージ発表では、「大きなかぶ」の劇と、「手をたたきましょう」の歌を歌いました。「大きなかぶ」では、歌に合わせて次から次に子どもたちが登場し、右から左から、♪よ~いしょよいしょ♪と、大きなかぶを、みんなで力を合わせて引っ張りました。なかなか抜けなくて、大変だったね!抜けて良かった!皆でかぶを抜いた後は、「手を叩きましょう」の歌を歌いました。皆で泣いて、皆で笑って、とても楽しく歌っていました。

バザーではおもちゃのお金で好きなおもちゃを購入。車やシャボン玉、何にしようか迷っている姿が、とても可愛らしかったです。ボール遊びや手形アートにも興味津々でした。児童課のお兄さん、お姉さんがつくってくれたお昼ご飯も、とてもおいしそうに食べていました。

ステージ発表、ブースや食事を、児童課の子どもたちや来訪された方々と「つながり」、素敵な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。(乳児課 早川悠介)



多摩動物園に遠足



10月4日(金)乳児課で多摩動物公園遠足に行ってきました。第一係、第二係の子ども達皆でサロペットを着て仲良く出発しました。天候が心配されていましたが、当日のお昼前には雨が止み、無事に遠足を決行することが出来ました。ゾウ、チンパンジー、キリン、カンガルー、コアラなどさまざまな動物をみんなで回って見ました。

動物を指差し、興奮気味に見ている子もいれば初めての動物に圧倒され、じーっと見つめている子もいて子どもたちの反応もさまざまでした。ライオンバスに乗ってライオンを近くで見ることが出来ました。目の前で肉にかじりつくライオンはとても大迫力でした。子ども達もよく見ていたと思います。お土産ショップで担当職員とお土産を選んで購入したり、レストランで一緒に昼食を食べたりして楽しい思い出となりました。

(乳児課 三井)



みなみっこまつりを開催



10月27日(日)に相模原南児童ホームでのお祭り「みなみっこまつり」を開催しました。例年実施しているお祭りですが、感染症の影響が大きくここ数年は地域の方をお誘いすることが難しく施設内だけで実施していました。満を持して地域の方をお誘いすることになった今回のお祭りは、以前のようなお祭りの忙しさや雰囲気を知っている職員は減少し、新たな気持ちで臨むことになりました。

わからないことや直前で慌てることも多く、反省点もたくさん出てきましたが、子どもたちの笑顔がたくさんみられたお祭りとなりました。地域の方や子どもたちの学校の友達が来てくれたり卒園生も顔を見せに来てくれたりと実りのある実施となった反面、改めて施設内だけで完結するわけではない行事を主催する難しさを感じさせられました。その反省はしっかりと来年度以降に活かして、これから先も地域の方とつながっていけるようなお祭りを開催できるようにしていきたいと思っています。(児童課 吉田)

子どもたちの生活の様子

職員だより



園内グループ療育「たんぽぽ」

2歳～4歳対象に発達支援を目的としたグループ療育を行っています。

2022年から乳児院・児童養護施設に入所している2歳～4歳対象に発達支援を目的としたグループ療育を行っています。一般的に療育とは、発達障害もしくは発達の遅れの可能性がある子どもに対して、発達の状態や特性に応じたプログラムを実施し、発達・自立・社会参加を促す支援のことです。

園内で実施しているグループ療育たんぽぽでは、子ども達の特性に合わせた成長が促される「遊び」や社会経験を積む「課外活動」を通して感性や表現力、創造性やコミュニケーション能力、意欲や自己選択・決定力などさまざまなスキルを身につけることを目的としています。

2024年度は最大6名の幼児と職員(保育士・臨床心理士および公認心理師など)3～4名体制で活動しています。

～ある日の「たんぽぽ」の活動内容～

☆はじまりの会

あいさつの歌「せんせい おはよ」をみんなで歌います
↓お名前を呼び、大きな声で「は～い」と言ってもらいます
活動前に手遊び歌「はじまるよ はじまるよ」をみんなで歌います
↓今日の活動内容をみんなに伝えます(テーマに沿った絵本の読み聞かせ)
静かな遊び: ミントングを使用し色分け
動きのある遊び: サーキット

☆おわりの会

おわりの歌「さよなら あんころもち」をみんなで歌います
あいさつをして終わりです
その他に、季節に合わせた制作活動やリトミック、小麦粉粘土、買い物体験、公園遊びなどを行ってきました。



療育活動を通して、月齢相応の手先の使い方を学び、全身をのびのびと使って運動する楽しさを感じ、さまざまな遊具を使って多様な動きを行うことができました。また、達成する喜びを味わい、お友達と協力して取り組むことで共同して遊ぶ楽しさも学ぶことができました。

今年度も電車・バスなどの公共交通機関を利用した課外活動も積極的にいきい社会経験を積んでいきたいと思っています。
(心理療法担当 徳永)



職員のご紹介



栄養管理係に配属となりました栗林かおりと申します。

中心会に入職し、12年が経ちました。以前は海老名市にある中心荘第一・第二老人ホームで栄養マネジメントなどの仕事に携わっていました。1年ほど、子育てのために長いお休みを頂いていましたが、このたび11月より相模原南児童ホームで勤務することとなりました。

法人内での勤務経験は長くなりましたが、

乳児や児童の栄養管理は初めてになりますので、周りの先輩方に教えて頂いたことを確実に一つずつ覚え取り組んでいきたいと思っています。子ども達が嫌いな食べ物一つずつ好きな食べ物に変わるように、食べることの楽しみや大切さを伝えていければと思っています。

慣れないことでご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが宜しくお願い致します。

(栄養管理係 栗林)

ハロウィンを行いました



10月29日(火)に乳児課で少し早いハロウィンを行いました。子ども達が様々な動物の衣装をして、事務室、食品保管庫、医務室、心理療法室をまわりお菓子をもらいに行きました。衣装して待っている職員の方々もいて、子ども達は普段目にしない人がいることで驚いている子もいましたが、笑顔でお菓子をもらっていました。もらったお菓子は、一人ひとりが持っているカボチャのバケツに入れ、大事そうに持ち歩いていました。お菓子をもらった後は、ユニットに戻りもらったお菓子を食べていました。みんな笑顔でお菓子を食べていました。

夕食は、両ユニット合同で食事をしました。オバケのご飯、カボチャの顔になっているハンバーグなどが入っているプレートを食べました。美味しいものをたくさん食べて楽しいハロウィンになりました。(乳児課 鈴野)

七五三のご祈禱に行きました



11月17日(日)、座間神社に七五三のご祈禱に行ってきました。今年3歳児2名、5歳児2名の計4人でした。当日はヘアメイクと着付けを相模原南地区更生保護女性会の皆様にしていただき、素敵におめかしして行きました。普段着る事のない着物や、本格的なメイク、髪型、子どもたちにとってはどれも新鮮で、嬉しそうな表情から感じられました。着付けが終わると、ホームの職員や子どもたちに見せに行きました。たくさん褒められて、嬉しそうに、少し恥ずかしそうにしている姿が印象的でした。

神社では、一人ひとり名前を呼んでもらい祝っていただきました。慣れない環境で緊張していましたが、お守りや千歳飴を貰って、最後には笑顔も見られました。

相模原南地区更生保護女性会の皆様にご協力いただき、無事にお祝いする事が出来て良かったです。子どもたちに貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。(児童課 高橋)